

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント
【男子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO6M

2018/4/4

第1戦

CHINA	vs	JAPAN
--------------	----	--------------

4 : 16

1	1st	3

1	2nd	4

1	3rd	5

1	4th	4

PSO

White Caps				
チーム	CHINA			
監督	Peter POROBIC			
Caps	Player	PF	G	
①	WU Honghui	1		
2	Fada QIN	1	1	
3	LIU Yu			
4	Chenghao CHU	2		
5	Zekai Xie			
6	Shi SHA		2	
7	Zhongxian CHEN	2		
8	Rui CHEN	1	1	
9	Yimio CHEN	2		
10	Beiyi WANG	1		
11	Xiao LIU	1		
12	Gelin ZHU			
13	Zhiwei LIANG			

Blue Caps				
チーム	JAPAN			
監督	大本 洋嗣			
Caps	Player	PF	G	
1	棚村 克行			
2	足立 聖弥	1	4	
3	コップ晴紀	1		
4	志賀 光明		2	
5	吉田 拓馬	1	2	
6	飯田 純士	3		
7	宮澤 拓夢	1		
8	高田 充	2	2	
9	荒井 陸	1	3	
10	稲場 悠介		3	
11	大川 慶悟			
12	荒木 健太			
13	福島 丈貴			

《戦評》

初戦、中国との試合。開始16秒で吉田のドライブからの切れ味鋭いシュートで先取点を奪うと足立の連続得点もあり、第1ピリオド3-1とリードして終わる。第2ピリ第2ピリオドもパワープレーからの得点など4連続得点をあげ、DFも機能したため、前半終わって7-2と大きくリードした。その後も志賀、荒井、吉田、高田、稲場が得点し終わってみれば16-4と大勝した。点差的にはイージーゲームであったが、細かいDFミスや退水なども多かったため、修正して明日アメリカに再度勝利し、リーグ戦首位通過にはずみをつけたい。

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント 【男子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO11M

2018/4/5

第2戦

JAPAN	vs	USA
--------------	----	------------

10 : 12

3	1st	3
3	2nd	4
3	3rd	3
1	4th	2
PSO		

White Caps				
チーム	JAPAN			
監督	大本 洋嗣			
Caps	Player	PF	G	
1	棚村 克行			
2	足立 聖弥	1	2	
3	コップ晴紀	1	1	
4	志賀 光明	2	1	
5	吉田 拓馬			
6	飯田 純士	3		
7	宮澤 拓夢		1	
8	高田 充	1		
9	荒井 陸	3		
10	稲場 悠介	2	2	
11	大川 慶悟	2	1	
12	荒木 健太	1	2	
13	福島 丈貴			

Blue Caps				
チーム	USA			
監督				
Caps	Player	PF	G	
1	Alexander WOLF			
2	Jonathan HOOPER	2	1	
3	Marko VAVIC	1		
4	Alexander OBERT		3	
5	Benjamin HALLOCK	3	1	
6	Nicholas CARNIGLIA	3		
7	Hanes DAUBE	2	1	
8	Alex ROELSE	1	1	
9	Alexander BOWEN	1	3	
10	Chancellor RAMIREZ	2	1	
11	Jesse SMITH	3		
12	Maxwell IRVING	2	1	
13	Drew HOLLAND			

《戦評》

昨年世界選手権でアメリカに勝利したことはブロックではないことを証明するため、絶対に勝つという強い思いで試合に臨んだ。第1ピリオド、退水誘発のパワープレーから足立、志賀の連続ゴールなどが生まれ、リードする展開であったが、1ピリオド終了間際パワープレーを決められ、このピリオド同点で終了する。第2ピリオド、アメリカに先行されるが、コップ、宮澤の初代表組が得点し、6-7と1点ビハインドで前半を終える。第3ピリオドまだまだ泳げる日本チームは大川のカウンターからのゴール、稲場のパワープレーからのゴールで9-10の1点ビハインドのまま最終ピリオドへ。第4ピリオドも果敢にゴールを狙う日本であったが荒木の1ゴールに終わり、10-12の僅差でアメリカに敗れた。両チームあわせて36個のMFがあり、パワープレーの決定率、防御率がアメリカのほうが優れていた。明日は地元ニュージーランドと試合。確実に勝ち点をあげ、スーパーファイナル出場権獲得に向けて前進したい。

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント
【男子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO18M

2018/4/5

第3戦

NEW ZEALAND

vs

JAPAN

10 : 18

2 1st 8

2 2nd 3

4 3rd 5

2 4th 2

PSO

White Caps			
チーム	New Zealand		
監督			
Caps	Player	PF	G
1	SID DYMOND		
2	MATHEW LEWIS		
3	Matthew MORRIS	3	
4	Nicholas PATERSON	1	
5	Losefu TUIASAU		4
6	Matthew SMALL	1	
7	ArtonSUNDE	1	3
8	Liam PATERSON	1	1
9	Sean BRYANT	1	
10	Matthew BRYANT	1	
11	Jerome McGUINNESS	1	1
12	Sean NEWCOME	1	1
13	Bae FOUNTAIN		

Blue Caps			
チーム	JAPAN		
監督	大本 洋嗣		
Caps	Player	PF	G
1	棚村 克行		
2	足立 聖弥		3
3	コップ晴紀		
4	志賀 光明		
5	吉田 拓馬		1
6	飯田 純士	1	1
7	宮澤 拓夢		3
8	高田 充	2	1
9	荒井 陸		2
10	稲場 悠介		4
11	大川 慶悟	1	3
12	荒木 健太		
13	福島 丈貴		

《戦評》

地元ニュージーランドとの戦いは完全アウェイであったが、第1ピリオドから日本の粘り強いDFからの速攻、退水誘発などで足立、高田、荒井、稲場、大川と大量8得点をあげ、8-2で終了する。第2ピリオド少しシュート決定率が下がったが、吉田、宮澤などが得点し、前半を11-4とセーフティリードで終える。後半も飯田や高校生コンビの活躍もあり7得点をあげ、18-10でニュージーランドを退けた。危なげなく勝利したが、もう少し防げた失点もあったので、明日はもう一度しっかり気を引き締めて失点を減らし、リーグ2位で最終日を迎えたい。

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント
【男子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO

2018/4/7

第4戦

JAPAN

vs

SAUDI ARABIA

18 : 5

5 1st 0

4 2nd 1

7 3rd 1

2 4th 3

PSO

White Caps				
チーム		JAPAN		
監督		大本 洋嗣		
Caps	Player	PF	G	
1	棚村 克行			
2	足立 聖弥	1	2	
3	コップ晴紀			
4	志賀 光明		3	
5	吉田 拓馬		1	
6	飯田 純士	1	2	
7	宮澤 拓夢		2	
8	高田 充			
9	荒井 陸		4	
10	稲場 悠介	1	1	
11	大川 慶悟		1	
12	荒木 健太		2	
13	福島 丈貴	1		

Blue Caps				
チーム		SAUDI ARABIA		
監督				
Caps	Player	PF	G	
1	Hussain JAIZANY			
2	Hussain JAIZANY	1		
3	Mohammed GAHAL	1		
4	Hassan KALFOOT		1	
5	Turki ALKHALDI		1	
6	Ayman LARYANI	3		
7	Adel ALMALKI	1	1	
8	Khaled ALHARBI			
9	Abdulghani ALDUGHATHER	1	2	
10	Mohammed ALHELAL	2		
11	Mohammed ALKHAWFI			
12	Omar SHARAHILI			
13	SHARAHILI Omar			

《戦評》

第1ピリオドから日本の速攻を警戒し、全く攻める気配をみせないサウジアラビアであったが、それでも30秒オーバータイムから日本は攻撃に転じると前半で9-1と大きくリードした。後半も明日につながる戦いをするために、DFの確認をしっかりとらして確実に得点し、18-5でBリーグ2位を決めた。3位決定戦はアジアのライバルカザフスタンとの戦いとなる。アジア大会優勝に向けても絶対勝利し、3位でスーパーファイナル出場を決めた。

2018年 ワールドリーグ・インターコンチネンタルトーナメント
【男子】

ニュージーランド・オークランド 2018年4月3日～4月8日

GAME NO

第5戦

KAZAKHSTAN	vs	JAPAN
-------------------	-----------	--------------

7 : 12

1 1st 4
1 2nd 3
2 3rd 3
3 4th 2
PSO

White Caps				
チーム		KAZAKHSTAN		
監督				
Caps	Player	PF	G	
1	LIPILIN Pavel			
2	MEDVEDEV Yevgeniy	3		
3	AKHMETOV Rustam	2		
4	PILIPENKO Roman	1		
5	AUBAKIROV Miras	3	1	
6	SHMIDER Alexey	2	1	
7	GODOVANYUK Alexandr	1		
8	SHONZHIGITOV Sultan	1		
9	UKUMANOV Rustam			
10	RUDAY Mikhail		4	
11	MANAFOV Ravil	1	1	
12	VERDESH Yulian	3		
13	SHLEMOV Valeriy			

Blue Caps				
チーム		JAPAN		
監督				
監督		大本 洋嗣		
Caps	Player	PF	G	
1	棚村 克行			
2	足立 聖弥			5
3	コップ晴紀	1	1	
4	志賀 光明	2		
5	吉田 拓馬	1		
6	飯田 純士	2		
7	宮澤 拓夢			
8	高田 充			1
9	荒井 陸	1	1	
10	稲場 悠介	1	3	
11	大川 慶悟	2	1	
12	荒木 健太			
13	福島 丈貴			

《戦評》

第1ピリオドから足立、大川、コップで4連続得点と完全に日本ペースで試合が進んだ。第2ピリオドも高田、荒井がゴールを決め、前半終わって7-2とセーフティリードで終わった。後半も稲場の得点などもあり、終わってみれば12-7とライバルカザフスタンに一度もリードされることもなく完勝した。最優秀ゴールキーパーに棚村選手、優秀選手に足立選手、最優秀監督に大本監督が選出され、結果は3位であったが、日本の存在を各国に強烈に印象づける大会であった。